

# 家棟川ビオトープ 魚の観察会を 開催しました～ >°))≡

平成30年9月9日(日)9時から、野洲市野田地先の家棟川ビオトープで魚の観察会を開催しました。

曇り空の中、一時雨にも見舞われましたが、家族連れや団体、個人の方々30名とスタッフ23名の計53名での開催となりました。

船に乗って琵琶湖沖や家棟川で魚を捕まえたり、ビオトープの池に入って魚や昆虫などを捕まえて観察したり、魚と野草の天ぷらの試食を行いました。



船に乗って琵琶湖沖へ



家棟川で投網を観察



ビオトープの池で魚捕り

船に乗って琵琶湖沖での刺し網や家棟川での投網で魚の捕獲を行いました。引き上げる網に魚が見えると参加者からは歓声が上がっていました。ゲンゴロウフナやニゴロフナが捕獲でき、外来種であるブルーギルも捕れました(〇)

ビオトープの池では、例年よりも水位が高く、歩くのに苦戦しながらもフナやヨシノボリ、ヌマムツの稚魚などの魚が捕れました。また、スジエビやヌマエビなどの甲殻類、コムススマシなどの水生昆虫も捕れました(〽)

講師の先生による、魚の特徴や見分け方などの説明を、みんな真剣に耳を傾けていました。その後、子どもたちは、実際に捕ってきた魚などを手に取り、触って観察しました。



捕獲した生き物を観察



野草と魚の天ぷらを試食

最後にビオトープ内で採れたヨモギやクヌ、セイタカアワダチソウ、スイバなどの野草の説明をして、全員そろっての記念撮影をした後、野草と漁師さんに提供いただいたワカサギ、ブラックバスの天ぷらをみんなで試食しました。

お皿に天ぷらを大盛りにしたし、「おいしい」と言って、天ぷらのおかわりをする子どもたちもいました。

おにぎいを持参して天ぷらと一緒に食べられていた参加者もおられ、みなさんに楽しい時間を過ごしていただきました。



天ぷらにした野草の説明

参加してくれた子どもたちから、また参加したいという声もいただきました。

**次は、11月18日(日)に秋の自然観察会を開催予定ですので、多数のご参加をお待ちしております！！**



参加者全員で記念撮影

### 家棟川ビオトープ自然観察会

主催：滋賀自然環境研究会、NPO法人家棟川流域観光船、野洲市環境課、

滋賀県土木交通部流域政策局河川・港湾室、南部土木事務所

協力：独立行政法人水資源機構琵琶湖開発総合管理所